



<http://www.namiki-masatoshi.com/>

討議資料

なみき
並木まさとし



ナイスショット通信 第41号

46歳

発行者 埼玉県議会議員 並木正年 〒365-0038 埼玉県鴻巣市本町3-2-19-B
TEL 048-541-7777 FAX 048-543-8000 namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp

近年、アド街つく天国や路線バスの旅などで地域の隠れた観光スポットが紹介されています。先日のポピーまつりでは圏央道の開通からか昨年以上に県外ナンバーをはじめ、神奈川や茨城からの観光客が訪れていたようです。埼玉県では県内を訪れる観光客の観光消費額の調査を行っており、一人当たりの消費額の平均は県外からの宿泊客が21,521円、日帰り客が4,648円となっています。

鴻巣市にも地域の隠れた観光資源がありますので、ぜひ訪ねて広く情報発信してみたいと思います。

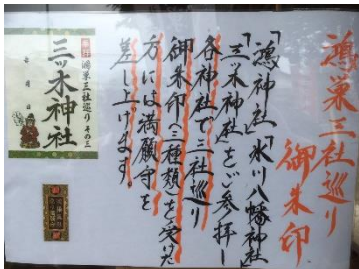
* 観光消費額の調査は「さいたまスーパーアリーナ」や「東武動物公園」など県内10地点でおこなっています。

	交通費	土産代	飲食費	入場料
県外からの宿泊客	9,638円	2,945円	2,760円	948円
県外からの日帰り客	1,604円	1,576円	1,334円	1,177円

* 三社巡りの御朱印・・・「鴻神社」・「氷川八幡神社」・「三ツ木神社」の各神社で参拝し、御朱印三種類を受けると満願守がもらえるようです。

* 二神めぐり・・・ 災難を取り去る「取り去る」お守り。悪い事を取り去り、良い事を引き寄せる。このお守りは厄や災害・病気・悪運など悪い事を「取り去る」よう特別に祈願したお守りのようです。このとり伝説がある鴻神社の「とり」のお守り、サルを眷属とする三ツ木神社の「さる」のお守り。この二神めぐりを行い二つ合わせてお祀りすることで運勢が開けると言われています。

* 三ツ木神社ではサルの石像に自分の身体の悪いところと同じ箇所に朱色の粉を塗り付けると悪いところが治ると言われています。



三社巡りの満願守り



市天然記念物のケヤキ



朱色の粉が塗られた猿の石像



鴻巣総鎮守の鴻神社



鬼退治のお宮氷川八幡神社



三ツ木神社(さる)のお守り



鴻神社(とり)のお守り



合わせると(取り去る)お守り

来春卒業予定者の大学生らを対象にした大手企業の採用面接が6月1日から始まっています。

埼玉県では職員採用上級試験の申し込みが5月22日に締め切られ、一般行政職はH29年度採用予定数の171名に対して2,032人の申し込みがありました。また、初級試験の申し込みは8月（採用予定者数一般事務9人）となっています。上級試験・初級試験の例題は以下のとおりです。



埼玉県庁 初級試験 教養試験 出題分野 社会科学（社会）



日本の人口に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つあるが、それらはどれか。

- ア 日本は、出生数よりも死亡数の方が多い人口減少社会となっており、総人口は平成27年10月時点で1億人を割り込んでいる。
- イ 合計特殊出生率（1人の女性が一生に産む子どもの数の平均）は低下し続けているが、人口を維持するのに必要な水準は上回っている。
- ウ 日本で少子化が進んでいる理由の一つとして、子育てと仕事の両立の困難さが挙げられてきたことから、近年では都市部を中心に保育所の増設が進み、都市部では待機児童の問題はほぼ解消されている。
- エ 日本では欧米先進国と比べて速い速度で高齢化が進んでおり、65歳以上人口が総人口に占める割合は、平成27年10月時点で25%を超えている。
- オ 少子高齢化の進行に伴う問題として、社会保障の給付と負担の世代間格差、過疎化などが挙げられる。

- ①ア・ウ ②ア・オ ③イ・ウ ④イ・エ ⑤エ・オ

答えはプロフィール下へ



埼玉県庁 上級試験 教養試験 出題分野 社会科学（時事）

近年の日本の電力事情に関する次の各記述中の下線部分ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

日本国内の原子力発電所は、東日本大震災以降順次停止し、1基も稼働していない状態が生じた。その後、停止した原発の一つであった九州電力の川内原発1号機は、ア原子力規制委員会による新規制基準の策定が間に合わなかったため、政治判断により再稼働が許可され2015年8月に再稼働した。これにより「稼働原発ゼロ」の状態が終わった。

再生可能エネルギーによる発電については、太陽光などで発電した電気の買取りを電力会社に義務付けた再生可能エネルギー固定価格買取制度が2012年から始まった。これにより2014年にかけて最も発電設備の導入が進んだのは、イ太陽光、風力、地熱のうちでは風力であった。この制度では、ウ買取価格の負担は家庭や企業の電気料金に上乗せされており、発電設備の導入が想定以上に進んだため、国民負担抑制の必要が生じていた。このことなどから、政府は2015年、制度の見直しに着手した。

電力システム改革が進められている2016年4月、電力供給システムの小売部門について、東京電力や関西電力など10大電力会社による地域独占が廃止され、一般家庭の消費者も電力を購入する際に電力会社を選べるようになった。一般家庭に電力小売を行う事業者として登録されているのは現在、エ10大電力会社だけであるが、従来の供給地域を越えた顧客獲得競争が始まっている。電力供給システムの送配電部門は今後、オどの電力事業者も公平に送配電設備を使えるように、10大電力会社から分社化されることになっている。

- ①ア・イ ②ア・エ ③イ・オ ④ウ・エ ⑤ウ・オ

答えはプロフィール下へ

プロフィール

昭和45年(1970)鴻巣市本町生まれ/鴻巣幼稚園/鴻巣東小学校/鴻巣中学校/埼玉栄高校(サッカー部)/亜細亜大学経済学部国際関係学科卒/セントラルワシントン大学AUAP課程修了/鴻巣幼稚園保護者会副会長/鴻巣市商工会青年部第31代部長/第8回このす花火大会代表/鴻巣市消防第2分団員(21年目)/鴻巣東小PTA副会長/鴻巣市議会議員2期/H27年埼玉県議会議員初当選/県土都市整備委員/人材育成・文化・スポーツ振興特別委員/図書室委員/家族/妻・長女(大学生)・長男(中学生)・愛犬レオ